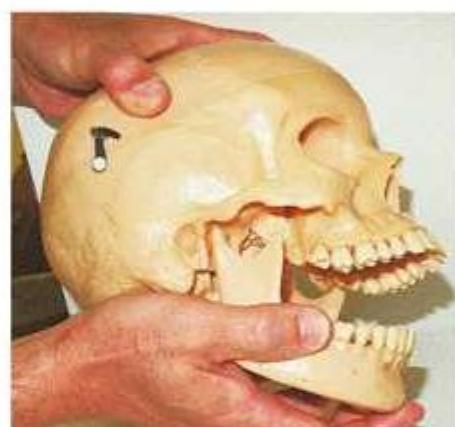


中日病院
だより

顎関節症は顎の関節や、顎を動かす筋肉に異常が起こり「あごが痛い」「口が開きにくい」「音がする」「物がかみにくい」といった症状が現れる病気です。軽い症状は自然に治ることも多いです。生活に支障がある場合は受診する方がいいでしょう。

開口量四センチ以下の場合は、一般的に開口障害があると考えます。関節の骨の間にある関節円板というクッションが前に

顎関節症の症状や治療の説明に使われる骨の模型＝名古屋市中区の中日病院で



34

顎関節症(歯科口腔外科)

開口量4センチ以下は障害

ずれていた状態から戻ったり、ずれたりする音。「シャリシャリ」「グニュ」という音は関節円板や骨に変形があり、すれ合う音です。多くの場合、関節雜音は痛みを伴う場合以外は治療の必要はありません。

顎関節症はかみ合わせて戻らない時にみられることが一番多いです。

原因が複合して生じます。顎の動き、痛みの種類と部位、関節雜音、かみ合わせなどで総合的に診断し、必要に応じて工長・談

治療はストレッチ運動、くいしばりをなくす生活指導、スプリント（口腔装置）、鎮痛剤投与など。専門医による関節内洗浄、関節鏡治療、手術などが必要な場合は少ないです。

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。周辺の中日病院 052(961)2491



(新美敦歯科口腔外科部)